

長崎県肉用牛改良センターだより R8-19号

令和 8 年 8 月 4 日

にほんばれ 長崎県有種雄牛『日本晴』誕生！

～ 平茂晴を継ぐ安定した雌成績 ～

「日本晴」号（令和3年7月20日生、平戸市産）の現場後代検定が終了しました。

本牛は、名牛「平茂晴」を父に持つ家畜改良事業団の「茂晴花」を父に、産肉能力形質の育種価が高く、同じく平茂晴を父に持つ「ひらしげふく」を母に持ち、「平茂晴」の血統で固めた交配で造成された系桜系種雄牛である。

検定成績は下表のとおり、**枝肉重量 553.0kg**、**BMSNo.10.5** は本県の系桜系種雄牛では**歴代 2 位成績**です。

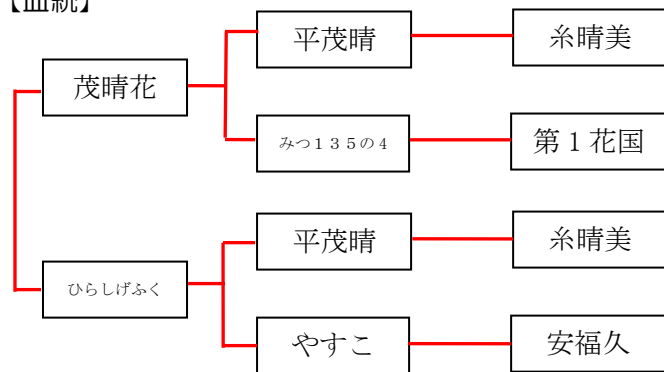
また、**雌では枝肉重量 530.8kg BMSNo.11.4** と本県**歴代 1 位**の成績であり、「平茂晴」の後継牛として期待されています。

現場後代検定成績（去勢8頭）

区分	枝肉重量 (kg)	0-2芯面積 (cm ²)	パウの厚さ (cm)	皮下脂肪の 厚さ (cm)	歩留 基準値	脂肪交雑 (BMSNo.)
日本晴	553.0	70.9	8.6	3.3	74.6	10.5
県平均	515.4	70.8	8.7	2.3	75.9	9.2

※県平均：令和7年次長崎県内出荷黒毛和種肥育成績(去勢)平均値（(公社)日本食肉格付協会 HP）

【血統】



【枝肉写真】



日本晴-金太郎 3-安福久

枝肉重量 551.5kg

BMSNo.12

